



Copyright © 2020 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
- 3. IM-PDFDesigner for Accel Platform 2020 Summer からの変更点
- 4. 機能一覧
- 5. システム要件
- 6. 検証済み環境
- 7. 制限事項
- 8. 保証規程
- 9. 著作権および特記事項

改訂情報

変更年月日	変更内容
-------	------

2020-12-01	初版
------------	----

本書の目的

本書では IM-PDFDesigner for Accel Platform のリリース内容について記載されています。

製品の利用対象

次の利用を対象としています。

- IM-PDFDesigner for Accel Platform を利用したアプリケーション開発
- IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform を利用したアプリケーション開発

IM-PDFDesigner for Accel Platform のエディション

IM-PDFDesigner for Accel Platform は次の2種類のエディションが存在します。

- IM-PDFDesigner for Accel Platform
- IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform

詳細については、「[機能一覧](#)」を参照してください。

帳票デザインツールと連携エンジン

帳票デザインツール

帳票レイアウトを作成するために必要なソフトウェアです。

連携エンジン

PDF帳票を出力するために必要なソフトウェアです。

スタンドアロン構成と分散構成

本書におけるスタンドアロン構成と分散構成は次の構成を指します。

スタンドアロン構成

intra-mart Accel Platform と同じサーバに連携エンジンを導入する構成です。

分散構成

intra-mart Accel Platform とは別のサーバ（PDF帳票サーバ）に連携エンジンを導入する構成です。

— IM-PDFDesigner for Accel Platform 2020 Winter リリースノート 初版 2020-12-01

IM-PDFDesigner for Accel Platform 2020 Summer からの変更点

機能

- 変更された機能はありません。

システム要件

- サーバ要件
 - intra-mart Accel Platform
 - Red Hat Enterprise Linux 6.x (64bit) を削除しました。
 - Red Hat Enterprise Linux 8.x (64bit) を追加しました。
 - 必要ディスク容量 (連携エンジン) を40MB -> 10GBに変更しました。
 - PDF帳票サーバ
 - 必要ディスク容量 (連携エンジン) を60MB -> 20GBに変更しました。

検証済み環境

- サーバ環境
 - Payara Server 5.194 -> 5.2020.2 に変更しました。
- クライアント環境
 - Microsoft Edge 81 -> 83 に変更しました。
 - Google Chrome 81 -> 83 に変更しました。

制限事項

【追加された制限事項】

- 追加された制限事項はありません。

【変更された制限事項】

- 変更された制限事項はありません。

【削除された制限事項】

- 削除された制限事項はありません。

IM-PDFDesigner for Accel Platform

IM-PDFDesigner for Accel Platform に含まれる機能の一覧です。

機能	機能概要
帳票レイアウト作成	帳票レイアウトを作成します。単票形式と連票形式の帳票レイアウトが作成できます。この機能は帳票デザインツールで提供されます。
PDF帳票出力	帳票デザインツールで作成した帳票レイアウトをPDFに変換します。この機能は次の形式で提供されます。 <ul style="list-style-type: none">■ スタンドアローン構成用API (Java開発向け)■ スタンドアローン構成用API (スクリプト開発向け)



注意

IM-PDFDesigner for Accel Platform は [スタンドアローン構成](#) のみ対応しています。
[分散構成](#) は対応していません。

IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform

IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform に含まれる機能の一覧です。

機能	機能概要
帳票レイアウト作成	帳票レイアウトを作成します。単票形式と連票形式の帳票レイアウトが作成できます。この機能は帳票デザインツールで提供されます。
PDF帳票出力	帳票デザインツールで作成した帳票レイアウトをPDFに変換します。この機能は次の形式で提供されます。 <ul style="list-style-type: none">■ スタンドアローン構成用API (Java開発向け)■ スタンドアローン構成用API (スクリプト開発向け)■ 分散構成用API (Java開発向け)■ 分散構成用API (スクリプト開発向け)■ IM-LogicDesigner のユーザ定義タスク



コラム

IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform は [スタンドアローン構成](#) と [分散構成](#) に対応しています。

当バージョンにおけるシステム要件は次の通りです。

サーバ要件

intra-mart Accel Platform

- intra-mart Accel Platform 2020 Winter (Standard Edition、Advanced Edition、Enterprise Edition)
- 利用する intra-mart Accel Platform の [サーバ要件](#) に準じます。



注意

[スタンドアローン構成](#) の場合は次の要件が追加、変更になります。

種別	製品名
オペレーティングシステム	Windows Server 2012 日本語版 (64bit)
	Windows Server 2012 R2 日本語版 (64bit)
	Windows Server 2016 日本語版 (64bit)
	Windows Server 2019 日本語版 (64bit)
	Red Hat Enterprise Linux 7.x (64bit)
	Red Hat Enterprise Linux 8.x (64bit)
必要メモリ容量 (連携エンジン)	4GB以上
必要ディスク容量 (連携エンジン)	次の合計値 <ul style="list-style-type: none">▪ 10GB以上▪ 一時ファイルを作成するために必要な空き容量
連携エンジン	IOWebDOC 1.x
	IOWebDOC 3.x



注意

「必要メモリ容量（連携エンジン）」は連携エンジンが動作するために必要な空きメモリ容量を表します。アプリケーションサーバ（JVM）とは別に十分な空きメモリが必要です。



注意

「一時ファイルを作成するために必要な空き容量」はファイルの大きさや利用頻度によって異なります。IM-PDFDesigner for Accel Platform は次の一時ディレクトリを使用します。

- オペレーティングシステムの一時的ディレクトリ
- Javaの一時的ディレクトリ（java.io.tmpdir）
- intra-mart Accel Platform の一時的ディレクトリ

一時ディレクトリの空き容量が不足している場合、PDF帳票の出力に失敗する可能性があります。

PDF帳票サーバ

種別	製品名
オペレーティングシステム	Windows Server 2012 日本語版（64bit）
	Windows Server 2012 R2 日本語版（64bit）
	Windows Server 2016 日本語版（64bit）
	Windows Server 2019 日本語版（64bit）
	Red Hat Enterprise Linux 6.x（64bit）
	Red Hat Enterprise Linux 7.x（64bit）
ハードウェア	各OSの安定稼動が可能となるPC (CPU 3GHz以上を推奨)
必要メモリ容量（JVM）	推奨する最小構成 2GB 以上
必要メモリ容量（連携エンジン）	4GB以上
必要ディスク容量（連携エンジン）	次の合計値 <ul style="list-style-type: none"> ■ 20GB以上 ■ 一時ファイルを作成するために必要な空き容量

種別	製品名
JDK	Java Platform, Standard Edition 8 Development Kit
Web Application Server	Apache Tomcat 8.0.x
	Apache Tomcat 8.5.x
連携エンジン	IOWebDOC 3.x



注意

IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform を [分散構成](#) で運用する場合はPDF帳票サーバが必要です。



注意

「必要メモリ容量（連携エンジン）」は連携エンジンが動作するために必要な空きメモリ容量を表します。アプリケーションサーバ（JVM）とは別に十分な空きメモリが必要です。



注意

「一時ファイルを作成するために必要な空き容量」はファイルの大きさや利用頻度によって異なります。IM-PDFDesigner for Accel Platform は次の一時ディレクトリを使用します。

- オペレーティングシステムの一時的ディレクトリ
- Javaの一時的ディレクトリ（java.io.tmpdir）
- intra-mart Accel Platform の一時ディレクトリ

一時ディレクトリの空き容量が不足している場合、PDF帳票に出力に失敗する可能性があります。

クライアント要件

利用する intra-mart Accel Platform の [クライアント要件](#) に準じます。

帳票デザインツール要件

種別	製品名
オペレーティングシステム	Windows 8.1 Update 日本語版（32bit、64bit）
	Windows 10 日本語版（32bit、64bit）

種別	製品名
帳票デザインツール	IOWebDOC 1.x
	IOWebDOC 3.x



注意

帳票デザインツールの詳細なバージョンについては「[IM-PDFDesigner for Accel Platform セットアップガイド](#)」-「[帳票デザインツール・連携エンジンバージョン](#)」を参照してください。

ライセンス要件

1ライセンス分の IM-PDFDesigner for Accel Platform には、次のライセンスがそれぞれ1つずつ含まれます。

ライセンス名	概要
帳票デザインツールライセンス	帳票デザインツールを導入するために必要なライセンスです。
連携エンジンライセンス	連携エンジンを導入するために必要なライセンスです。

システム構成によって必要なライセンス数が異なります。

IM-PDFDesigner for Accel Platform と IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform とでライセンス体系が異なります。

IM-PDFDesigner for Accel Platform

- IM-PDFDesigner for Accel Platform はWARファイル単位のライセンスです。ただし、IM-PDFDesigner for Accel Platform を導入するサーバごとに、最低でも1つのライセンスが必要です。そのため、「WARファイル数」と「サーバ数」の最大値が必要なライセンス数になります。

コラム

構成ごとに必要となるライセンスの例は、次の通りです。

- 1サーバで3WARファイルの場合は、3ライセンス必要です。
- 2サーバで2WARファイルの場合は、2ライセンス必要です。
- 3サーバで1WARファイルの場合は、3ライセンス必要です。

- IM-PDFDesigner for Accel Platform は [スタンドアローン構成](#) のみ対応します。 [分散構成](#) は対応していません。

- CPU数、および、コア数には依存しません。

IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform

- IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform は、インストール単位（連携エンジン IOWebDOC をインストールする数）のライセンスです。
- **スタンドアローン構成**では、インストールする 連携エンジン IOWebDOC は1つであるため、必要なライセンスは1つとなります。
- REST機能を使用して **分散構成**とする場合、PDF帳票サーバごとに 連携エンジン IOWebDOC をインストールする必要があるため、PDF帳票サーバ分のライセンスが必要です。
- WARファイル数、CPU数、および、コア数には依存しません。

言語（帳票）

帳票に対応している言語は次の通りです。

- 日本語
- 英語
- 中国語（簡体字）



注意

連携エンジン IOWebDOC 1.x は中国語（簡体字）に対応していません。中国語（簡体字）を使用する場合は IOWebDOC 3.x を導入してください。

フォント（帳票）

帳票に対応しているフォントは次の通りです。

- 日本語の場合
 - MS 明朝
 - MS ゴシック
 - IPA明朝
 - IPAゴシック
- 英語の場合
 - Courier New
- 中国語（簡体字）の場合
 - SimHei



注意

Red Hat Enterprise Linux では次のフォントは利用できません。

- MS 明朝
- MS ゴシック



注意

連携エンジン IOWebDOC 1.x は中国語（簡体字）のフォントに対応していません。中国語（簡体字）のフォントを使用する場合は IOWebDOC 3.x を導入してください。

データファイルの文字コード

IM-PDFDesigner for Accel Platform のAPIで扱うデータファイルの文字コードはUTF-8（BOMあり）です。



コラム

データファイルの形式は次の通りです。

- CSV形式
- DAT形式

DAT形式は IM-PDFDesigner for Accel Platform 独自のデータファイル形式です。



注意

BOM（バイトオーダーマーク）が必要です。



注意

連携エンジン IOWebDOC 1.x は UTF-8 に対応していません。IOWebDOC 1.x が対応しているデータファイルの文字コードは Shift_JIS です。



注意

intra-mart Accel Platform では UTF-8 以外の文字コードは対応していません。

以下、弊社動作検証済みの組み合わせです。

サーバ環境

スタンドアローン構成

intra-mart Accel Platform	OS	JDK	Web Application Server	連携エンジン
2020 Winter(Azalea)	Windows Server 2019 日本語版	Oracle JDK 11.0.7	Resin 4.0.64	IOWebDOC 3.5.8.2 Windows版
2020 Winter(Azalea)	Windows Server 2019 日本語版	Oracle JDK 11.0.7	Payara Server 5.2020.2	IOWebDOC 3.5.8.2 Windows版
2020 Winter(Azalea)	Red Hat Enterprise Linux 7.7	OpenJDK 11.0.6	Resin 4.0.64	IOWebDOC 3.5.7.0 Linux版
2020 Winter(Azalea)	Red Hat Enterprise Linux 7.7	OpenJDK 11.0.6	Payara Server 5.2020.2	IOWebDOC 3.5.7.0 Linux版

分散構成

intra-mart Accel Platform

intra-mart Accel Platform	OS	JDK	Web Application Server
2020 Winter(Azalea)	Windows Server 2019 日 本語版	Oracle JDK 11.0.7	Resin 4.0.64
2020 Winter(Azalea)	Windows Server 2019 日 本語版	Oracle JDK 11.0.7	Payara Server 5.2020.2
2020 Winter(Azalea)	Red Hat Enterprise Linux 7.7	OpenJDK 11.0.6	Resin 4.0.64

intra-mart

Accel Platform	OS	JDK	Web Application Server
2020 Winter(Azalea)	Red Hat Enterprise Linux 7.7	OpenJDK 11.0.6	Payara Server 5.2020.2

PDF帳票サーバ

OS	JDK	Web Application Server	連携エンジン
Windows Server 2019 日本語版	Oracle JDK 11.0.7	Tomcat 8.5.54	IOWebDOC 3.5.8.2 Windows版
Red Hat Enterprise Linux 7.7	OpenJDK 11.0.6	Tomcat 8.5.54	IOWebDOC 3.5.7.0 Linux版

クライアント環境

OS	ブラウザ
Windows 10	Internet Explorer 11
	Microsoft Edge 83
	Google Chrome 83

全般

バージョン、および、エディションは必ず正しい組み合わせで運用してください

次のバージョン、および、エディションは必ず正しい組み合わせで運用してください。異なる組み合わせは、対応していません。

- intra-mart Accel Platform のバージョン
- IM-PDFDesigner for Accel Platform のバージョン
- IM-PDFDesigner for Accel Platform のエディション
- 帳票デザインツールのバージョン
- 連携エンジンのバージョン



コラム

正しい組み合わせについては、次を参照してください。

- 「IM-PDFDesigner for Accel Platform リリースノート」 - 「システム要件」
- 「IM-PDFDesigner for Accel Platform セットアップガイド」 - 「帳票デザインツール・連携エンジンバージョン」

IM-PDFDesigner for Accel Platform と IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform は共存できません

IM-PDFDesigner for Accel Platform と IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform は共存できません。どちらか片方を選択してください。

連携エンジン IOWebDOC 1.x ではいくつかの機能に制限があります

連携エンジン IOWebDOC 1.x ではいくつかの機能に制限があります。

- 言語 (帳票)
- フォント (帳票)
- データファイルの文字コード
- 連携エンジン IOWebDOC 1.x では一部の帳票形式が利用できません
- 連携エンジン IOWebDOC 1.x ではパスの長さに制限があります

IM-PDFDesigner for Accel Platform を新規に導入する場合は IOWebDOC 3.x を使用してください。

IOWebDOC 1.x は互換性のために残されています。

— IM-PDFDesigner for Accel Platform 2020 Winter リリースノート 初版 2020-12-01
IM-PDFDesigner for Accel Platform のバージョンアップやアップデートの際は IOWebDOC 3.x への移行を検討してください。

IOWebDOC 1.x から IOWebDOC 3.x への移行手順については、

「[IM-PDFDesigner for Accel Platform 移行ガイド](#)」 - 「[IM-PDFDesigner for Accel Platform の IOWebDOC 1.x から IOWebDOC 3.x への移行](#)」を参照してください。

連携エンジン IOWebDOC 1.x では一部の帳票形式が利用できません

連携エンジン IOWebDOC 1.x では連票形式 IOBDOC に関する全ての機能が利用できません。

IOWebDOC 3.x は次の全ての帳票形式が利用できます。

- 単票形式 IODOC
- 連票形式 IOCELA
- 連票形式 IOBDOC

連携エンジン IOWebDOC 1.x ではパスの長さに制限があります

連携エンジン IOWebDOC 1.x で扱うファイルやディレクトリのパスの最大長は128文字です。半角文字は1文字、全角文字は2文字としてカウントします。

パスはStorage上のパスではなく、ファイルシステム上のパスを指します。

サロゲートペア文字は対応していません

サロゲートペア文字は対応していません。

IM-LogicDesigner 連携 では、 IOCELA は使用できません

IM-LogicDesigner で使用できるユーザ定義タスク機能は、 IODOC と IOBDOC です。 IOCELA は使用できません。

IOCELA をご利用で、 IM-LogicDesigner 連携 の導入を希望する方は、 IOBDOC への移行を検討してください。

帳票レイアウト作成

識別子名には制限があります

- 半角英数字記号以外の文字は使用できません。
- 最大文字数は128文字です。

Red Hat Enterprise Linux で連票形式 IOCELA の帳票レイアウトを利用する場

連票形式 IOCELA の帳票デザインツールは、改行コードがCRLFの帳票レイアウトファイルを出力しません。

Red Hat Enterprise Linux で IOCELA の帳票レイアウトを利用する場合は、帳票レイアウトファイル (.clf) の改行コードをCRLFからLFへの変更が必要です。

文字枠の文字サイズを自動縮小する機能使用時は、入力できる文字数に制限があります

文字枠の文字サイズを自動縮小する機能は、枠内におさまるよう自動的にフォントサイズを縮小して表示します。

自動縮小した結果、フォントサイズが 0.5 以下となる場合は、判読できないフォントサイズとしてエラーとなります。

該当する機能を次に示します。

- 単票形式 IODOC
 - 文字枠属性「文字サイズを自動縮小」
- 連票形式 IOBDOC
 - 文字枠属性「出力制御」 - 「文字サイズ縮小」
 - 文字枠属性「出力制御」 - 「文字サイズ縮小(改行を挿入)」

PDF帳票出力

PDFセキュリティの暗号化レベルは 40bit RC4 です

PDF帳票出力時に設定可能なPDFセキュリティの暗号化レベルは 40bit RC4 です。

PDFセキュリティのパスワードには制限があります

PDF帳票出力時に設定可能なPDFセキュリティのパスワードには次の制限があります。

- 半角英数字記号以外の文字は使用できません。
- Red Hat Enterprise Linux の場合、次の文字は使用できません。
 - " : ダブルクォーテーション
 - \ : バッククォート
 - \$: ドル記号

PDF文書のプロパティには制限があります

PDF帳票出力時に設定可能なPDF文書のプロパティには次の制限があります。

- 半角英数字記号以外の文字は使用できません。

保証内容及び対象

この保証規程（以下、「本書」という。）並びに貴社が当社と締結した一切の契約が定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）

及び制限事項の範囲内にて貴社が本製品を利用することを条件として、当社は貴社に対し、本製品に同封され、又は当社ホームページ（<http://www.intra-mart.jp/document/library/?product=pdfd>）に掲載されているマニュアルの最新版のとおり本製品が動作することを保証します。

なお、当該保証は、貴社における内部的使用を目的とする限りにおいて適用されるものです。また、当該保証は、当社の一方的な裁量により、無償で交換若しくは修補、又はかかる本製品の対価としてイントラマートが貴社から受領した金額の返金のいずれかの方法によるものとします。

上記の対応は、正規の当社製品を購入され、適法かつ誤りなくユーザ登録を完了されたお客様のみに行うもので、当社はその他の対応又は保証、特に本製品をインストールしたハードウェア、接続製品、及びそれらに保存されたソフトウェア、データ等の保証（但し、これらに限られない。）は一切行いません。

保証の適用除外

下記の場合は動作保証が適用されません。

- 貴社が、本書又は貴社が当社と締結した一切の契約に定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）その他の制限事項の定める範囲内にて本製品を利用しなかった場合
- 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害等の外部的事情による誤動作の場合
- 合理的な使用方法に反するご利用に起因する場合
- 貴社あるいは第三者が改変・変更等及びそれらの作業を行ったことに起因する場合
- 本製品以外のソフトウェア、ハードウェア等との互換性の問題から生じる場合

免責

本製品に関する当社の損害賠償責任は、理由のいかんを問わず、本製品の「ソフトウェア使用許諾契約書」に定める責任の限定の範囲内といたします。

その他の契約との関係

本製品の保証に関して、貴社が当社と締結した一切の契約と本書の間に齟齬がある場合には、本書の記

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上